

VOL.77
3月議会
令和7年5月発行

議会だより みなへ

令和7年度上南部中学校入学式



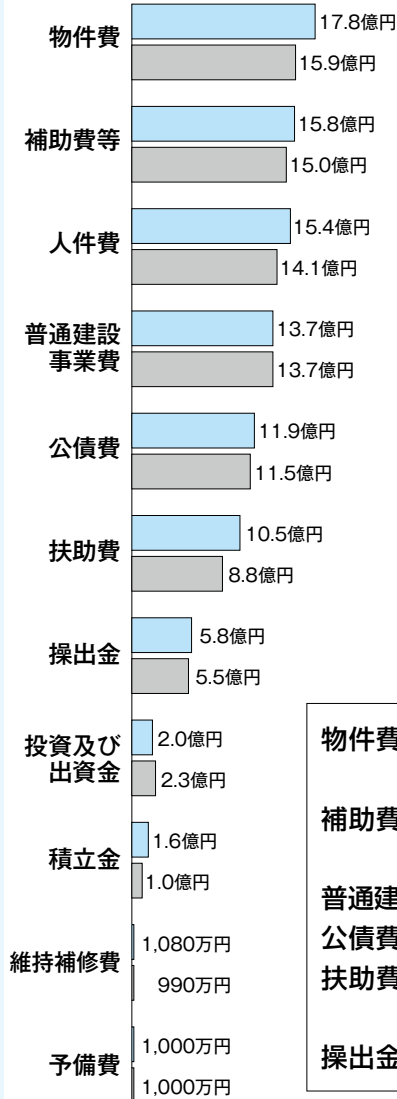
- 令和7年度当初予算 2～3
- 注目予算のピックアップ 4～5
- 議案審議 (Q & A) 6～7
- 条例改正、事務局職員紹介、意見書決議 8～9

- 町政を問う 一般質問 10～15
- 常任委員会レポート 16～17
- 町内あれこれ 18

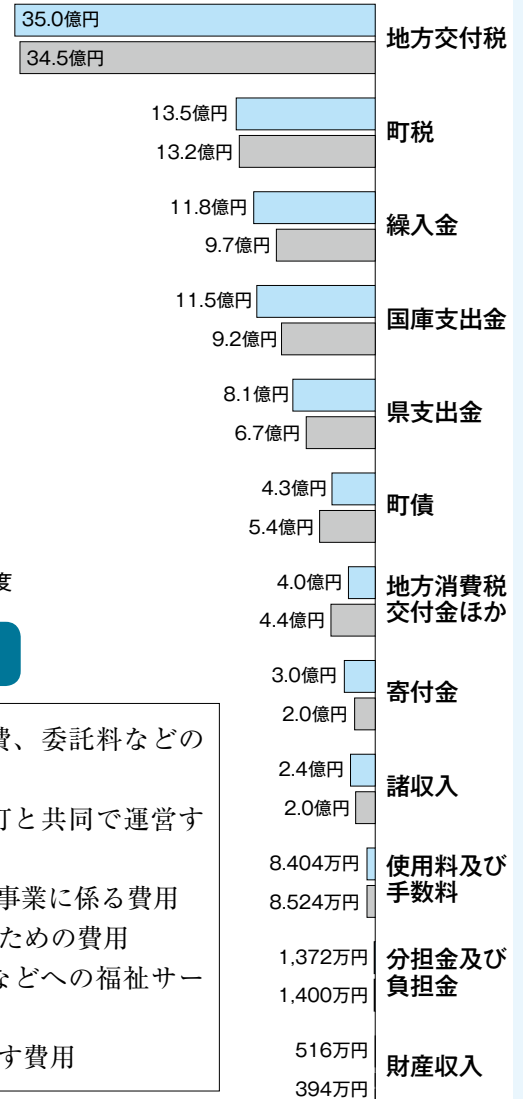
額147億7,110万円

●一般会計／94億6,700万円(前年比+6億6,500万円)

歳 出



歳 入



経費の説明

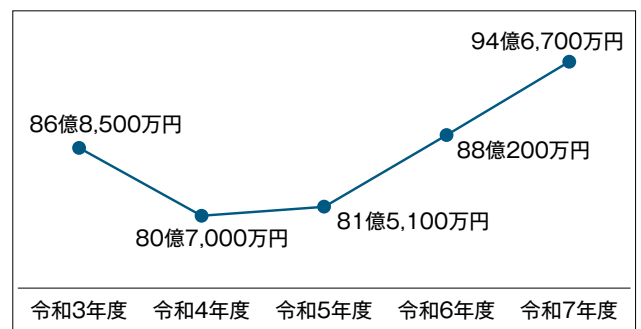
物件費：公共施設の光熱水費、消耗品費、委託料などの費用
補助費：団体等への活動助成金、他市町と共同で運営する組合への負担金などの費用
普通建設事業費：道路や建物などの建設事業に係る費用
公債費：町が借り入れたお金を返済するための費用
扶助費：児童、高齢者、障がい者の方などへの福祉サービスの提供に必要な費用
操出金：一般会計から特別会計に繰り出す費用

平成16年(2004)の合併以降、平成19年度(2007)の95億8千万円に次いで大きな予算規模となりました。

増額の主な要因として、物価高騰による物件費増(約1億8千万円増)、児童手当を高校生までに拡充したことによる扶助費増(約1億6千万円増)、人件費増(約1億2千万円増)があげられます。

今年度の一般会計

一般会計当初予算額の推移



令和7年度当初予算 総

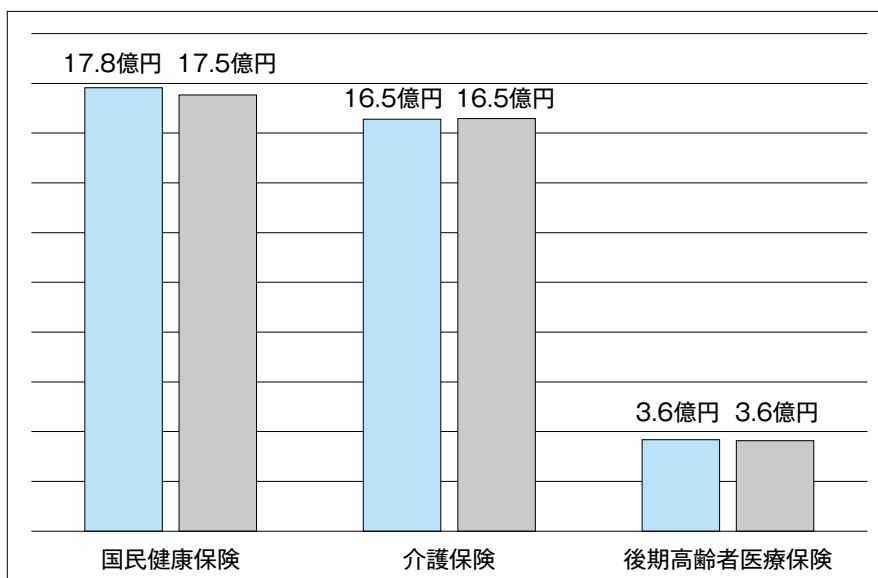
一般会計当初予算は前年に比べ、6億6500万円の増加の94億6700万円となっています。主な事業として、次のものが計上されています。

- ① 小中学校給食費無償化に係る費用 (約3900万円)
- ② 物価高騰対策として町民1人に5千円分の商品券配布事業 (約6千万円)
- ③ 埴田医王寺避難道路整備事業 (2億3000万円)
- ④ 国民宿舎紀州路みなべ改修事業 (約3400万円)

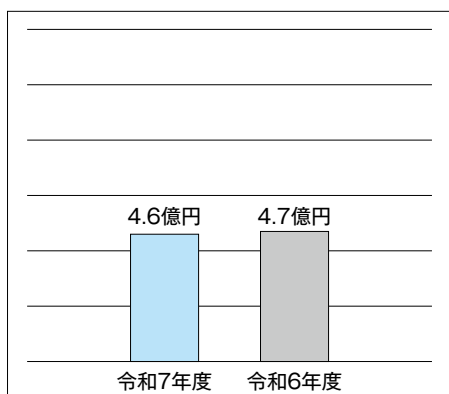
歳入における町税が前年度より3153万円増の13億5192万円。自主財源は31億7592万円（歳入全体の33・5%）になります。

一方、地方交付税などの依存財源は62億9107万円（歳入全体の66・5%）となっています。

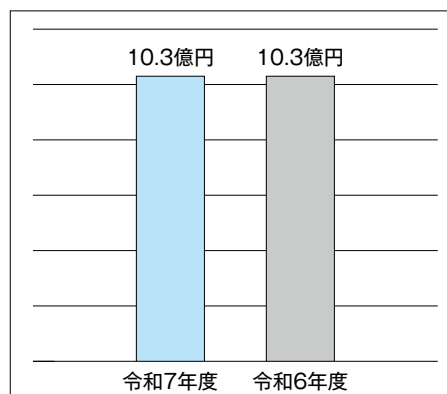
●特別会計／総額38億619万円(前年比+3,096万円)



●水道事業会計 4億6,376万円 (収益的支出+資本的支出)



●下水道事業会計 10億3,414万円 (収益的支出+資本的支出)



■ 令和7年度 ■ 令和6年度

今回の注目予算 ピックアップ

地域

新規

駅を活用したまちづくり 協議会委員報酬 30万円

J R南部駅と岩代駅を活用してまちづくりをめざす協議会を新たに設立し、和歌山大学からアドバイザーを迎えて協議を進めます。約20名のメンバーは、J R・交通利用者、各団体・事業者の代表などで構成され、基本構想をまとめます。（P16参照）



J R 岩代駅



J R 南部駅

母子

新規

新生児聴覚検査委託料 50万円

新生児の聴覚障害を調べるための検査委託料です。

先天性難聴を早期に発見し、適切な療育を受けることにより自立生活に大きな効果が期待されます。



教育

継続

GIGAスクール タブレット端末更新 6,649万円

令和3年、国が推進する「GIGAスクール事業」で導入された児童生徒のタブレット端末が更新時期を迎えます。令和8年度に向けて児童生徒用に930台の端末機器を購入します。



防災

新規

津波避難タワー調査 測量業務委託料 400万円

今後30年間に80%の確率で発生するとされる南海トラフ地震。これに備えるために、平成29年に完成した津波避難センターに続いて、2ヶ所の避難タワー建設をめざして調査測量を行います。財源は、100%町の負担です。



企画

継続

自治体SDGs事業 1,259万円

町民の町への愛着度を上げることを目標とした町民総参画、町外応援団と取り組む3つの事業です。

- ① SDGsを推奨するステークホルダープラットフォームを形成します
- ② 「みなべ梅ラーニングコモンズ」で町内、中高生、大人、町外の方と協働し地域の課題解決に取り組めます
- ③ 二酸化炭素を削減するため、梅の剪定枝をバイオ炭化します



防災

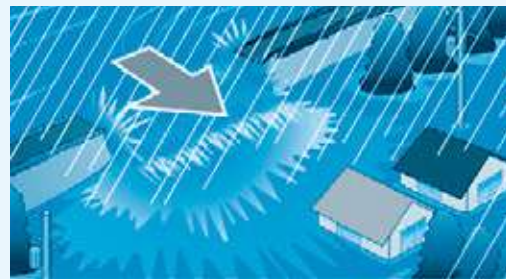
新規

洪水ハザードマップ 作成委託料 800万円

町内の全2級河川を対象に、各地域の浸水リスクや避難経路を確認できる資料を新たに作成するための委託料です。

土砂災害、津波の2つのハザードマップと合わせて、町民の安全性を確保するために活用されます。

これらの情報マップは、冊子や町ホームページ等で周知されます。



漁業

新規

出漁支援事業補助金 700万円

令和7年4月1日から1年間、漁船に使用される燃油の購入費用への補助金です。対象経費の20%以内の額が補助されます。

燃油価格の高騰が、出漁意欲の低下につながらないよう、漁業者の経営安定や水産業の発展を支援するものです。



商工

拡充

みなべ町商工会 補助金 1,750万円

地域の中小事業や小規模事業者への支援を通じて、地域経済の活性化や経営基盤の強化を図るための補助金です。

今年度は、旧町・村の2つの商工会合併20周年を記念して、10月25日に「あきんどカーニバル2025」が開催されます。

そのイベントへの補助金として250万円が増額されています。



主な議案質疑
Q&A編
抜粋

令和7年度
一般会計予算

政策推進課

定住促進新築住宅取得支援
事業補助金

(2000万円)

◎ 当初の予算がオーバーすれば、補正予算で対応できるのか。

▲ 令和6年度は、18件の申請で、令和7年度は状況に応じて対応していく予定です。

婚活支援事業補助金

(60万円)

◎ 実績と成果は。

▲ 令和6年度2回実施。参加者は55名（男性38、女性17）で6組のカップルが成立しました。

空き家解体処理費補助金

(1200万円)

◎ 空き家解体補助の実績と今後の方針は。

▲ 平成29年度から制度が開始し、実績は147件（住宅122件、倉庫25件）。今後相続未登記や解体資金難の課題にも行政が対応できるか検討します。



住民福祉課

電子書籍サービス利用料

(35万円)

◎ 電子書籍サービスで調べる書籍とは何をさしているのか。またそのメリットは。

▲ 戸籍関係の専門書です。具体的には、「戸籍実務」「戸籍小六法」「判例・例集」などです。

これまでは、古い紙の本をロッカーから探して確認していましたが、電子化によりすぐに検索できて業務が早くなります。

コンビニ二交付サービス運営料

(91万円)

◎ 住民票などのコンビニ二交付は、一年間でどれくらい利用されたのか、その率は。

▲ 年間約750件。最も多かったのは、令和6年3月の116件です。利用者は少しずつ増えています。率は10%程度です。

◎ 役場の負担軽減・住民の利便性向上のためにもっとPRすべきでは。

▲ すでに4月広報紙では「役場に来なくてもできる手続き」を特集で紹介しています。

今後もし引き続き、別の手段も含めて広報を工夫し、利用者増をめざします。

健康長寿課

成人保健事業について

◎ 成人保健事業から前立腺がん検診の廃止や乳房検診の対象年齢の引き上げになった理由は。

▲ これらの検診による死亡率の減少効果が不十分であるという国の基準により見直しました。

子育て推進課

地域子ども・子育て支援事業利用委託料

(22万円)

◎ 令和7年度から始まる訪問型支援事業の内容は。

▲ 地域子ども・子育て支援事業のうち、子育て世帯訪問支援事業が新規事業となります。不安や負担を抱える家庭を訪問し、相談や支援を行います。

産業課

有害鳥獣捕獲事業補助金

(1870万円)

◎ 令和6年度の有害鳥獣の捕獲状況は。

▲ 令和6年12月末時点で猪828、鹿694、猿86、アライグマ125頭で前年より約500頭増加し

ました。



農地パトロール報償

(24万円)

◎ 農地パトロール後の対応について。

▲ 年1回職員と農業委員が、違法転用や耕作放棄地がないか確認し、適切でない場合は、所有者を指導しています。

みなべ町お買い物券

配布事業補助金

(5852万円)

◎ 山間部ではお買物券が使いづらい。せめて「とくし丸」で使えるようにできないか。

▲ 「とくし丸」は、町外事業者であるため除外しています。今後、制度の柔軟



UME-1 フェスタ高校生交流会

な運用も検討していきます。

うめ課

UME-1 フェスタ開催

補助金(500万円)

Q グルメ甲子園に36チームの応募があるが、今後出場枠を増やせないか。

A 現在、出場数は10チームに絞っています。

宿泊施設、会場規模にも限界があり、厳しいのが現状です。条件を整えれば、出場枠の増加も検討したいと考えています。

ラジオキャンペーン企画

運営委託料(990万円)

Q CMの内容が梅だけでなく、備長炭、漁業なども含めて発信してはどうか。

A 基本は梅PRですが、目的から外れない枠内であれば町の魅力を発信できたらと考えています。

教育学習課

GIGAスクールタブレット端末機更新(6649万円)

Q タブレットを更新する理由は。今後定期的に更新するのか。

A 導入から5年が経過し、OSのサポート切れや性能低下が見込まれるためです。今後およそ5年ごとの更新サイクルになる見込みです。

Q 国の補助金は全体の費用に対してどれくらいか。

A 本体価格の一部しかカバーされないため、設定費用や関連ソフト費などは町の全額負担です。感覚的には「ありがたいが十分ではない」という認識です。

令和7年度
特別会計予算

水道事業会計

給水収益(3億94万円)

Q 給水料金を50%値上げしたことでの収益はどれくらい増えるのか。

A 令和6年度から予算ベースで約1.38倍に増加。令和6年度、約2億1793万円から約3億94万円が見込まれます。

下水道事業会計

Q 令和7年度の下水道への新規接続は何件増える予定なのか。

A 令和6年度(2月末)までに63件ありました。年度末にはさらに約40件程度の新規接続が見込まれています。接続件数は年間100件前後の増加ペースとなっており、概ね順調な進捗です。

国民健康保険特別会計

郵便料(120万円)

Q 各種郵送業務の中でジェネリック医薬品の利用を促す通知は行っているのか。

A ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の減少見込みをお知らせする利用差額通知書を送付しています。また、資格確認書送付時に「ジェネリック希望シール(保険証やお薬手帳に貼付可能)」を同封しており、窓口での加入手続き時にも配布しています。

特定検診委託料

(2332万円)

Q 特定健診の受診率はどれくらいか。高める取り組みはあるか。

A 令和6年度で約1700人が受診、対象者の約60%の受診を見込んでいます。医療費抑制のため周知活動の充実に努めます。



ピックアップ



Q みなべ町の医療費は高いのか、安いのか。

A 安いです。和歌山県内で一番医療費が低い町です。以前から医療費が少なく健康的な町として知られています。

Q それなのに保険料が高いのはどういうことか。

A 県全体で保険料を統一する「県単位化」が進んでいるためです。

医療費が低くても、他市町と同じルールで保険料が決まるようになってきました。

所得水準も考慮されるため、みなべ町は比較的高めの保険料になりがちです。

Q 今後も保険料は上がるのか、それとも止まるのか。

A 現状では今後も上がる可能性があります。

これまでの調整の仕組みがだんだん廃止されており、負担が増えやすくなっています。

陳情の採択結果

棒引	川口	宮崎
○	○	○
丸山	松下	崎山
○	○	○
細川	真造	玉井
○	×	○
永井	出口	議席順
○	○	

(議長は除く)

2) 意見書決議

陳情採択後、国に向けての意見書の提出を全会一致で決議しました。

また、その後国の関係機関に対してこれを提出しました。

意見書（一部抜粋）

…（現状の学校現場における“ブラック化”の解消のためには、）教員一人あたりの授業の持ちコマ数に上限を設け、授業準備をはじめ必要な業務を勤務時間内で収められる体制を構築しなければなりません。そのためには、各校に配置される教員数の根拠となっている義務標準法並びに高校標準法の改正が必須です。

適正な勤務時間管理のもと教員がゆとりを持って仕事をする事は、言うまでもなく児童・生徒の成長や発達に資するものです。教員の本務を全うするためにも、今般の政府の改善策にとどまることなく一刻も早い教員配置の見直しが必要です。

これらを踏まえ、みなべ町議会は、国会及び政府に対し次の事項を実現するよう強く要請します。

- 1 学校に求められる業務量に見合った教職員配置を進めるため、義務標準法並びに高校標準法の改正をすること

みなべ町手数料徴収条例の一部を改正

令和7年3月定例会

犬の登録手数料について

——マイクロチップ装着犬の登録手数料が無料に

令和4年6月1日から、ペットショップなどで販売される犬や猫へのマイクロチップの装着と情報登録が義務化されています。

この制度を受け、みなべ町でのチップ装着犬の登録手数料（3,000円）が無料となりました。同時に鑑札の再交付の手数料も無料になりました。

マイクロチップ
何のため？

- ・ 迷子や災害などの際に飼い主と動物を再会させる
- ・ 適正飼養の推進、飼育放棄の抑止
- ・ 動物の安全管理



マイクロチップに記録された情報を専用リーダーで読み取ると、登録データベースとの照合から身元が確認されます。

教職員配置数の見直しを求めて国に意見書を提出

令和7年1月臨時会



そのため、教職員の処遇改善の他、教員の配置基準を定める法律の改正が必要だと訴えています。

1) 委員会発委

この陳情を受けて、総務文教委員会で6回にわたる審議を行い、本会議に陳情の採択に向けての発委（＝提案）をしました。

その際、陳情の採択にあたって真造議員より反対意見（＝反対討論）が出されました。※ 右ページ採択結果参照

和歌山県教職員組合日高地方支部より「学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める陳情」が当議会に寄せられていました。

陳情では、現在の学校で業務過多による長時間労働に加えて、本来配置されるべき教員数が未達となっており、離職者が跡を絶たない悪循環に陥っているとしています。

反対討論

陳情の趣旨はそのとおりだと理解します。しかし、昨年末に財務・文科大臣による合同声明で、給与、学級定数、教員定数を見直すと謳っています。それを具体化する多額の新年度予算も発表されました。政府がやると言っていることをみなべ町議会がお願いしますというのは、非常におかしい不是吗。議会の良識が問われ、町民の信頼を失墜することになりかねません。よって陳情の採択には反対します。

議会事務局職員 異動のあいさつ

この度の人事異動により
新たに議会事務局職員が
替わりました



土井 委佐子 主任

今年の4月から
議会事務局に
異動しました。
一生懸命がんばります。
よろしく願います。

行政

まつ した きょう こ
松下 恭子 議員

質問 町職員離職と町財政への影響について
答弁 長期的に見て職員数の適正化を図りたい

質問

町職員の離職が続ぎ、去年より改善されない。令和6年度の離職者数と、令和7年度採用職員数と内訳をお答えいただきたい。

辞めた職員の中には、住民の方にいつも笑顔で対応し、町づくりに尽力してくれた方がいた。職員の離職、採用を繰り返すことは住民サービスの低下を招き、人件費が財政を圧迫することになるのでは。

町長

令和6年度の離職者数は12名です。令和7年度職員採用数は一般事務15名、保健師1名、保育士2名になっています。

人件費については国から地方交付税が措置されますが、今後の町財政も踏まえ、財政計画が必要です。

活躍された職員について、新卒3年以内の民間

企業離職率は35%というデータもあり、離職自体は悪ではないと思っています。

近年の離職状況

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
定年	4		5	2	1	2
勸奨			1	1		1
普通	1	3	2	3		9
合計	5	3	8	6	1	12

再質問

三回目の募集時、保健師3名を採用できず、その人数を一般事務に加えて6名採用にしているが、職員が多くなってこないか。また、保健師の募集は今後どうするか。

町長

一時的に職員は増えますが、業務を見直し職員との信頼関係を積み重ねて職場体制を整えていきたいです。保健師は今後も募集します。

令和7年度職員採用試験結果

試験回数 採用区分	第1回 45歳まで	第2回 35歳まで	第3回 45歳まで
一般事務	5/2	4/3	6/3
保健師		1/1	0/3
保育士		1/2	

採用人数
募集人数

質問

女性模擬議会について

男女共同参画基本法で国は指導的地位に女性が占める割合の目標を30%とした。

わが町には聡明で先進的な考えを持った女性が多い。その方々の意見を拾うべく、女性模擬議会を開催してはどうか。

町長

町が主体で女性模擬議会を開催することは現状は考えておりません。



くらし

ぼう
棒

ひき
引

きよし
清 議員

質問 普通財産の有効活用を
(宅地の確保を第一に)

答弁 前向きに取り組んでいきたい



居住地の確保を

質問

民間での開発も進むなか、選択肢を増やすためにも、宅地の確保を第一に、町内各地に存在する普通財産の有効活用について、町長の考えをお聞きたい。

町長

町としましては、活用可能な土地であれば売却や貸し付けなどを行い財政面や地域振興などに寄与できるように努めたいと考えています。

※普通財産とは

学校や庁舎など行政目的をもった行政財産以外で町が所有する財産です。主なものは、行政目的が終了した施設や土地、町道を改良した場合の旧道の残地など。

売却は宅地にすることを前提としてはおりませんが、宅地の確保は重要だと考えております。売却になり得る土地もあれば、自然災害想定区域内など宅地としての売却は難しいと考えられるところもあるのが現状です。住民のニーズとしては、自然災害からできる限り回避ができる場所で建てたいというのが本音であると思います。

基本的には現状のまま売却をし、インフラの整備については購入された方で必要に応じた対応をお願いしたいです。

宅地に適さない土地は、今後は民間で活用していただくことにより、町の活性化が図れればと思います。

宅地の確保は町の優先課題であり、特に山間地での確保が課題ではないか

と思っており、地域の方々の対話を進めて、前向きに取り組んでいきたいです。

遊休地の整理を

再質問

売却することとは遊休町有地の整理につながると思います。

みなべ町行政改革第4

次実施計画に「利用が見

込めない遊休地について、公募又は隣接所有者等への売却を進める」とある

が、目標数値が示されていない。公表して、町民の見、希望等を伺い、早期に計画を進めては。

町長

どこにどのような町有地

があるのか、住民の方々がわからない状況では売却も進みません。遊休地は多少でも管理費がかかりますので、計画に沿って少しでも売却していけるよう対応を考えたいと思います。

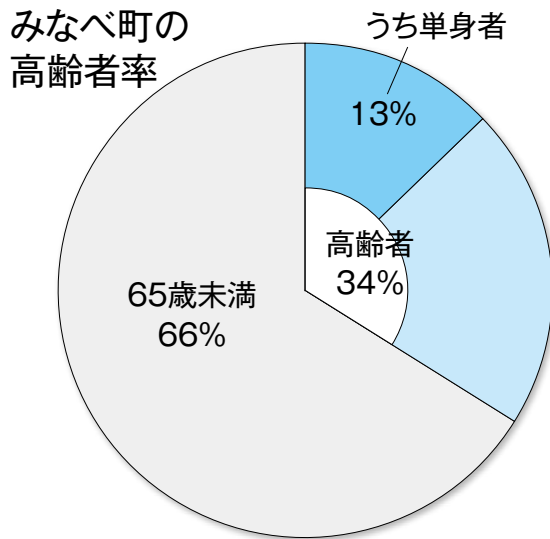


町有地売却により建設された住宅

くらし

たま い のぶ ゆき
玉井伸幸議員

質問 ゴミ出し困難者への支援、制度化を 答弁 まずは、調査したい



令和7年1月現在

現在、高齢者町内3人に1人以上。そのうち単身でお住まいの高齢者は13%で、すでに1500人近くに達しています。今後、この数は急増すると思われる、それによる影響が心配されます。

質問 今後を見据えたゴミ出し困難者への対応を

ごみ出し困難者の問題が各地で表面化しつつある。現状は、ヘルパーや事業所による個別の対応に頼るばかりだ。また、要支援・介護の認定を受けていない人は支援の対象となっていない。今後の高齢者の急増にともなうゴミ出し困難者の問題は、

町長 深刻さを増すことだろう。制度化が必要ではないか。

ゴミ出し支援については、まずは隣近所の助け合いや地域コミュニティの醸成が重要だと考えます。それでもゴミ出しが困難な方への支援については、先進事例を参考に制度化することになると思いますが、まずは調査や情報収集をしたいと思います。

A町ではすでに着手、わが町でも可能では

再質問

この問題は、収集車やゴミ出し場所のあり方というより弱者に寄り添う福祉の問題だ。A町ではもともとあった「生活管理指導員」という制度を利用して要支援・介護者やそれ以外の人も支えるしくみができている。わが町にも同じ制度があり、ここに一工夫を加えるこ

生活管理指導員派遣事業 8,076千円

拡充

一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の在宅生活維持のため、生活管理指導員により、日常生活に必要な指導や支援を行う。

ごみ出し支援について拡充



A町では令和2年度より実施

従前の制度にゴミ出しサービスを加えました。認定者とそれ以外の人あわせて20数人が支援を受けています。

町長 とでゴミ出し支援が実現できるのではないかな。

制度化する前に、集積所を増やして距離を縮めることや回収日前に集積所にゴミ出しができるよう地域の理解を求めるなども考えられます。そのあたりの状況調査も必要ではないかと思っています。

また、この制度化によって地域との関係が希薄化する懸念もありそこは慎重にすべきですが、地域によつてそれが難しい場合については、町としても支援をしていくべきだと思っています。まずは調査から始めたいと思います。





関係人口

ほそ かわ やす ひろ
細 川 安 弘 議員

質問 関係人口の創出拡大に向けての考えは

答弁 取り組みを継続し、課題を解決する



質問

みなべ町のPR

① 関係人口を創出拡大するには、戦略とともにみなべ町のPR、情報発信が大切です。今後もどのように情報発信していくのか。

ふるさと住民票の検討

③ 関係人口を増やし、みなべ町を応援してくれる町外の方とのつながりにより深めるために、「ふるさと住民票」の導入を検討してみようか。

考えは。

町長

梅収穫ワークショップ
② 「梅収穫ワークショップ」などの取り組みを通して、さらなる関係人口の創出に向けての町長の

① 今後は、みなべ町に心を持っている企業への訪問や地域の魅力を発信するイベントなどを開催して、SDGs 未来都市やサステナブル（持続可能）な取り組みについての情報発信など必要であると思っています。メディアに取り上げてもらえるようなまちづくりも必要だと考えます。みなべ町のPR

R 動画の作成も頭の中にはあります。

② 継続することが大事だと思います。関係人口創出のために出てきた課題を一つ一つ解決していくことが必要であると思います。

課題としては、滞在場所と交通手段が弱いところにあると思っています。関係人口を増やし、継続していくためには、これらの課題を解決する必要があります。性があると感じています。

③ ふるさと住民票については、導入することとどういうメリットがあるのか、まだわかっていない状況です。ただ、関係人口を増やしていきたいという思いはあります。

かつらぎ町では、町長の思いで始めたと聞いています。実際のところ導

※ふるさと住民票とは

普段、私たちは一つの自治体に住民登録をし、サービスを受けて生活をしています。住民登録をしていなくても、自分の故郷やお気に入りの地域に強い関心を持つ人たちに第2の住民票を発行し、地域づくりに参加してもらうのがふるさと住民票のねらいです。

石破首相は、令和7年1月の施政方針演説で関係人口の登録制度「ふるさと登録制度」について検討すると表明しました。

入してどうなのかは、直接町長に聞いてみたいと思っています。

予算

しん ぞう けん じ
真 造 賢 二 議員

質問 所信に対する新年度事業の整合性を問う
答弁 費用対効果を勘案し事業を継続、廃止、採用

前年度との予算比較

(千円)

科 目	令和6年度	令和7年度	増 減
ふるさと応援寄付金（歳入） （令和6年度の数字は予算額ではなく、直近の補正に基づく実績値）	300,000	300,000	0
婚活支援事業補助金	600	600	0
ラジオキャンペーン	9,900	9,900	0
敬老福祉大会	4,150	0	-4,150
出産育児応援金	6,000	0	-6,000
乳房検診 （令和7年度から対象年齢を38才から40才に引上げ）	4,579	4,455	-124
前立腺がん検診	715	0	-715
肺がん検診（CT）補助金	560	0	-560
自治体 SDGs モデル事業 （令和6年度の内1,780万円は国の補助金 令和7年度は町単独予算）	25,616	12,594	-13,022
世界農業遺産 TUNAGU みなべ町版業務委託料	0	3,996	3,996

質問

町長は所信表明で人口減少対策、子育て支援、医療体制維持、ふるさと納税強化、財政健全化等を掲げられました。しかし、当初予算の点数で、所信との整合性に疑問があります。町長の

見解を質したく質問します。

●ふるさと納税増額の公約にも関わらず、予算は令和6年度実績と同額。公約実現のために上積みすべきでは。

●敬老福祉大会、出産育児応援金、各種検診などの重要な住民サービスが削減・廃止された理由は、SDGsモデル事業の意思決定過程が不透明。グループリーダーを交えた会議が必要では。

●新規事業「世界農業遺産TUNAGU」の町単独予算化の意義は。

町長

●ふるさと応援寄付金は、目標値ではなく、令和6年度の実績を予算化しています。寄附額増のため、返礼品の開発や広告の中間事業者への委託、共通返礼品の採用等を進めます。

●ラジオキャンペーンは、音声メディアが再認識されており、梅酒や世界農業遺産の認知度向上、若年層へのアプローチも視野に継続します。

●敬老福祉大会は、コロナ禍での中断後の参加率低下を受け、再検討の結果、令和6年度を区切りを終了することにしました。

●出産育児応援金が少子化対策になっているか疑問です。別の子育て支援を検討中です。

●健診は早期発見の有効性に疑問があるものもあり、見直しました。

●SDGsの実施主体は町なので、提案の会議は考えていません。

●TUNAGUは、地域課題の解決、関係人口の増加、ふるさと納税増等、都会の企業、人との繋がりで好循環を生む事業です。



上下水道

で ぐち はる お
出 口 晴 夫 議員

質問 進む上下水道管の老朽化!
みなべ町の現状と対策は

答弁 急所となる施設を優先的に、耐震化を図って行きたい



質問

全国各地で上下水道管の老朽化で事故が多発。みなべ町内の施設の老朽化や陥没発生・下水管の修理状況は。

また、今後の耐震性向上や長寿命化への更新計画はあるのか。

年々厳しくなる上下水道の水質管理基準に照らして現在の状況は。

町長

約220キロの上水道施設で、法定耐用年数40年を超す箇所は23%です。



▲水道管の耐震化は、基幹管路からスタート

3年間で水道本管からの漏水による修繕は25件でしたが、陥没が発生するほどのものではありません。今後は、水道料金改定の要因となった東部配水池からの基幹配水管の更新に着手していく予定です。

次に、下水道管は施行時期が近年で、陥没事案はありません。

耐用年数が過ぎて多額の更新事業費が必要となるので、経費削減に努め、町民のみなさんが安心して

用できる持続可能な運営に努めていきます。

水質管理につきまして、水道法に定める51項目の水質基準に適合した管理を行っており、すべての水源地で検査を実施し、国の暫定目標値未満です。

再質問

今後、南海トラフ地震に備えて耐震化が必要だが、発生した場合の被害想定はどの程度見ているのか。

また、水質データはもっと公表すべきでは。

水道室長

現在の耐震化率は、取水施設については19%です。新しく浄水場が竣工すれば、63%に引きあがると考えています。

管路については、現在13%程度ですが、計画が進んでも耐震化は15%程



▲南部川河川敷の浄水場の耐震化も急がれる。

度と、大幅な解消にはならない状況です。

水質データの公表については、ホームページで安全性は説明していますが、今後より数値的に公表を検討していきたいです。

生活環境課長

下水道管については耐震構造になっていないので、防災と減災を組み合わせ、基幹的な施設部分を早急に復旧させる事を基本に考えています。



総務文教常任委員会 委員会レポート



町内JR2駅の改善に向け町がいよいよ検討に入りました。



南部駅



岩代駅

2 委員会では回を重ねて調査・検討、県内外への視察も行い、町への提言をまとめました。さらに、これをもとに昨年9月に**議会として改善を求める決議**を行いました。

決 議

- 1 南部駅に人を配置し、利用者の利便性、安全性の向上を図ること
- 2 南部駅の当該人の業務は、柔軟かつ継続性あるものをめざすこと
- 3 南部・岩代の両駅の利活用は、町づくりの観点に立ってにぎわいの回復・創出をめざしつつ検討を進めること
- 4 岩代駅では住民のこれまでのとりくみを最大限に尊重すること
- 5 議会はもとより町当局のJRの積極的な利用を図ること

1

南部駅が無人となって利用しづらいなどのいろいろな声が寄せられていました。これに対し、一昨年の夏から当委員会として検討を始めました。

南部駅の課題

- 切符が買えない
- 乗り方がわからない
- 階段昇降機が使えない
- ゴミが落ちている
- 駅が殺風景
- 跨線橋内が薄汚れている

3

これを受けた形で、町は南部・岩代両駅の今後について検討する方針を固めました。そのうえで、令和7年度予算に「駅を活用したまちづくり協議会」の設置費用を計上し、ここでの成果を反映することとしています。

4

予算が可決されたことを踏まえ、3月28日、委員会は担当の政策推進課から「駅を活用したまちづくり協議会」の進め方について町の考え方を聞きました。

協議会は、**大学教授を中心にJR、駅の利用者、公共交通機関関係者、町内各種団体代表者で構成**される予定です。ちなみに由良町では同様のものが一昨年前に設けられ、大胆な計画を打ち出しています。今後議会としても注視していきます。



産業建設常任委員会 委員会レポート



3月27日、担当課同行のもと、町内の主な工事個所を視察しました。
2月17日、みなべ観光ガイドの会の方々と意見交換を行いました。

工事個所の視察

3月27日、建設課、産業課の職員に同行していただき、町内の主な工事現場を視察しました。

島ノ瀬ダムのしゅんせつ

ダム上流の河川に堆積した土砂を撤去する工事が計画中です。撤去予定土量は約18万9000m³で、ナデオ地区に搬入します。令和9年から仮設工を、12年から土砂の撤去を開始する予定です。



ダム上流には大量の土砂が堆積

古川河川改修

総延長約3kmの工事は順調に進行しています。今後の工事で晩稲児童公園の一部が工事にかかります。そのため、公園を閉鎖し、工事の資材置き場にする計画です。新年度予算に遊具の撤去費用が計上されています。

南部川河川改修

国の指針に基づき、大洪水に耐えられる河川の断面積を確保するための改修工事です。河川の拡幅、堤体のかさ上げ等を行います。学校橋下流の工事は完了しており、現在、上流部で工事が進行中です。今後、片山地区側の河川拡幅と堤体のかさ上げがされ、国道とほぼ同じ高さとなります。改修計画については、瓜谷川と四郎橋までとなっています。

町道名の内線改修

名の内会館付近より上流約1.2kmの区間で、法線変更、道路拡幅等の工事を進行中です。

町道郷美墓地線

災害復旧工事

令和5年の豪雨により崩落した道路路側の復旧工事です。現場は「ときわ寮梅の里」のすぐ近くです。二次崩落が起こるなど難工事でしたが、工法の変更等により既に完成しており、安全に通行していただけます。

県道たかの金谷線

災害復旧工事

令和4年7月に発生した崩落により寸断された道路の復旧工事です。崩落上部から工事が進んでおり、令和8年度に完了予定です。仮設道路が迅速に整備されたため、生活には大きな支障がない状態ですが、一日でも早い復旧が期待されます。

観光ガイドのみなさんとの意見交換

2月17日「みなべ観光ガイドの会」のみなさん9名と意見交換を行いました。自己紹介、活動内容の説明に始まり、さまざまな話題に話しが弾み、有意義な会になりました。近日常に課題として指摘していたいた箇所を視察する予定にしています。



町内あれこれ

●高城中学校閉校式 78年の歴史に幕!

みなべ町立高城中学校が令和7年(2025)3月末をもって78年間の歴史に幕を降ろしました。

昭和22年(1947)5月に城西・島之瀬の両小学校内に「高城村立高城中学校」として開校し、同24年(1949)1月に滝449番地に独立校舎が完成、その後の平成2年(1990)現在地に新築移転しました。平成26年(2014)には清川中学校との統合を経て総勢2,228名の卒業生を送り出してきました。

3月20日の閉校式では、生徒や卒業生、教職員、地域住民ら約300人が詰めかけたなか、思い出の学び舎との別れを惜しみました。

式典は、国歌斉唱で始まり主催者や学校長の挨拶後、生徒会長から町長に校旗が返納されて終了しました。続くアトラクションでは、統合以前の清川中・高城中の校歌、そして現在の校歌3曲を紀南交響楽団が演奏し、これにあわせて参加者が合唱しました。また、1、2年生の和太鼓の演奏や、つい先日卒業したばかりの3年生によるダンスも披露され会場を盛り上げました。最後に餅投げが行われ、会場は大きな歓声に包まれました。



78年の歴史を懐かしく振り返りながら故郷への想いを胸に新たなステージにエールを送ります。

「みなべ町」になって20年、生徒数の減少により町内二つの中学校が閉じられました。生徒数の減少、残った施設の有効活用、課題は残ります。

あ と が き

令和7年度当初予算が可決され、新たな一年が始まりました。

施策には、昨年の10月から始まった県の補助制度を活用した小中学校の給食費無償化や高台への避難道路の整備事業、漁港のしゅんせつ工事、町道の改良工事等の継続事業があります。

また、物価高騰対策としてお買い物券の配布、補助金制度の新設、増額等が盛り込まれ、防災面では新たに2か所の津波避難タワーの調査費も計上されました。一方、見直しにより取りやめとなった事業もあります。予算審議では各課からの説明を受け、さまざまな質疑が交わされました。

より良いまちづくりをめざして議論を重ね、みなさまの声を施策に反映し、広報を通じて届けていきたいと考えます。

広報特別委員会 副委員長 棒引 清

議会の傍聴にお越しください
次の開会予定は次の通りです

5月議会

5月14日(水)午前9時〜